

## 大学図書館 電子図書館・電子書籍サービスアンケート 2019

2019年7月10日

### 【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館（者）についてご記入ください

※1-1 は記入必須となります

Q1【1-1】 貴大学図書館名

.....

Q2【1-2】 図書館数（中央館と分館（学部図書館、キャンパス別図書館）をあわせた数）

.....

Q3【1-3】 部署・ご担当者お名前

.....

Q4【1-4】 ご連絡先メールアドレス（半角英数字でご入力ください）

.....

Q5【1-5】 電話番号

.....

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果の発表会及び図書館における電子書籍サービスのセミナーのご案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途に「図書館の電子書籍に関する用語の説明」を添付していますのでご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

Q6【1-6】 アンケート集計資料の送付方法について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

※ご回答下さった大学図書館様には回答者様宛でメールでアンケートの集計結果をお送りいたします。

- (1) メールによる送付を希望（メールアドレス必須）
- (2) 送付不要
- (3) その他（記載）

## 【2】大学の設置学部について（複数選択可）

Q7【質問 2-1】貴大学において、設置している、「学科」（大分類）をご選択ください（複数選択可）、不明の場合（12）に記載下さい

- (1) 人文科学（文学、史学、哲学等）
- (2) 社会科学（法学、政治学、商学、経済学、社会学等）
- (3) 理学（数学、物理学、化学、生物、地学等）
- (4) 工学（機械工学、電気通信工学、土木建築、応用化学、応用理学等）
- (5) 農学（農学、林学、水産学等）
- (6) 保健（医学、歯学、薬学、看護学等）
- (7) 商船
- (8) 家政（家政学、食物学、被服学、住居学等）
- (9) 教育（教育学、体育学、特別支援教育等）
- (10) 芸術（美術、デザイン、音楽等）
- (11) その他（教養学、総合科学、国際関係学、人間関係学、環境学、その他）
- (12) 記載

-----

※学部学科（大分類）は「学科系統分類表（文部科学省学校基本調査）」を参照しています。不明の場合は下の URL にて「学科系統分類表」の中分類、小分類をご参照ください。

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2018/03/27/1388724\\_4.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2018/03/27/1388724_4.pdf)

### 【3】電子図書館サービスの実施について

Q8【質問 3-1】貴大学の図書館で「電子図書館サービス」として利用しているものがありましたら、選択肢からご選択ください（複数選択可）

※学内に複数の図書館を設置している場合には、そのうちの1つの図書館でも利用しているものがある場合にはご選択ください

※Webでの図書検索・貸出予約サービス、OPAC検索は、本アンケートの「電子図書館サービス」には含んでいません

#### (1) 電子書籍サービス

- ・例 Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）等
- ・なお、(1)をチェックされた方は、質問【4-1】～【4-7】にご回答ください

#### (2) 電子ジャーナルサービス

→例 ScienceDirect（Elsevier社）等

#### (3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス

#### (4) データベース提供サービス

→例 JapanKnowledge+（ネットアドバンス社）等

#### (5) 学術機関リポジトリ

#### (6) ディスカバリーサービス

#### (7) デジタルアーカイブ

#### (8) 音楽・音声情報配信サービス

#### (9) その他（記載）

---

#### 【4】「電子書籍サービス」について

※【質問 4-1】～【質問 4-7】については、前問【質問 3-1】において（1）を選択した図書館がご回答ください

※【質問 4-8】については、前問【質問 3-1】において（1）を選択しなかった図書館がご回答ください

※【質問 4-9】～【質問 4-13】については、すべての図書館がご回答ください

Q9【質問 4-1】電子書籍サービス提供方法について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 登録利用者（学生・教職員）のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供（学外でもアクセス可能）
  - (2) 登録利用者（学生・教職員）のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供（学内に限定）
  - (3) 学内の図書館など特定の施設のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供
  - (4) その他（記載）
- 

Q10【質問 4-2】電子書籍サービスの事業者を以下の（1）～（17）からご選択ください。当てはまるものがない場合は（18）その他をご選択してサービス名称をご記入ください（複数選択可）

- (1) Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）
  - (2) Kinokuniya Digital Library（KinoDen）（紀伊國屋書店）
  - (3) Rakuten OverDrive（メディアドゥ）
  - (4) EBSCO host（EBSCO Japan）
  - (5) Springer eBooks（Springer 社）
  - (6) Wiley Online Library（Wiley 社）
  - (7) Cambridge BookOnline
  - (8) Making of the Modernworld
  - (9) 化学資料館
  - (10) ProQuest Ebook Central
  - (11) Science Direct
  - (12) Medical Online ebook libraty
  - (13) LibrariE（日本電子図書館サービス）
  - (14) Infobase eBooks
  - (15) Oxford Scholarship Online
  - (16) 医書 jp（医書ジャーピー）
  - (17) Gale Virtual Reference Libraty
  - (18) その他（記載）
-

Q11【質問 4-3】「電子書籍サービス」で提供される電子書籍のタイトル数を和書・洋書・その他の別にお答えください（記載）

- (1) 和書 \_\_\_\_\_ タイトル  
(2) 洋書 \_\_\_\_\_ タイトル  
(3) その他 \_\_\_\_\_ タイトル

Q12【質問 4-4】「電子書籍サービス」で提供される電子書籍のタイトルのジャンルのうち、タイトル数の多いジャンルを上から5つお選びください（5つ以下でも結構です）

- (1) 0 類 総記  
(2) 1 類 哲学  
(3) 2 類 歴史・地理  
(4) 3 類 社会科学  
(5) 4 類 自然科学  
(6) 5 類 技術・工学  
(7) 6 類 産業  
(8) 7 類 芸術・スポーツ  
(9) 8 類 言語  
(10) 9 類 文学

Q13【質問 4-5】電子書籍サービス導入している場合において、電子書籍コンテンツの費用について会計処理はどのようになっていますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 電子書籍を図書館資料「備品」として扱う  
(2) 電子書籍を図書館資料「消耗品」として扱う  
(3) 電子書籍についてもデータベース（商用）と同等「使用料等役務費」として扱う  
(4) サービス全体についてオンラインシステム「使用料役務」に含める  
(5) サービス全体について「委託料」として扱う  
(6) その他（記載）

Q14【質問 4-6】資料費おける、「電子資料サービス（電子書籍サービス、データベース、電子ジャーナル）」の占める割合をご選択ください（一つ選択）。

※ご選択できる範囲で結構です

- (1) 10%未満
  - (2) 10%以上～20%未満
  - (3) 20%以上～30%未満
  - (4) 30%以上～40%未満
  - (5) 40%以上～50%未満
  - (6) 50%以上～60%未満
  - (7) 60%以上～70%未満
  - (8) 70%以上～80%未満
  - (9) 80%以上
  - (10) その他（記載）
- 

Q15【質問 4-7】「電子書籍サービス」を授業等で意図的に活用している事例がありましたら具体的にご記入ください（記載）

-----

※Q16【質問 4-8】については、前問【質問 3-1】において（1）を選択しなかった電子書籍サービス未導入図書館がご回答ください。

Q16【質問 4-8】貴大学の図書館における「電子書籍サービス」の状況について、選択肢からご選択ください

- (1) 電子書籍サービスを実施する予定が具体的にある
  - (2) 電子書籍サービスの実施を検討中（まだ具体的でない）
  - (3) 電子書籍サービスを実施する予定はない
  - (4) その他（記載）
-

※【質問 4-9】～【質問 4-14】については、すべての図書館がご回答ください。

Q17【質問 4-9】「電子書籍サービス」についての問い合わせや要望について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 大学の法人からの問い合わせがある
  - (2) 大学の教職員からの問い合わせがある
  - (3) 学生・大学院生からの問い合わせがある
  - (4) 大学の保護者からの問い合わせがある
  - (5) 現在のところ問い合わせはない
  - (6) その他（記載）
- 

Q18【質問 4-10】利用者の「電子書籍貸出サービス」のメリットについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 図書館に来館しなくても電子書籍が借りられる機能
  - (2) 文字の音声読み上げ、オーディオブック機能
  - (3) 外国語朗読データ（オーディオブック等）による学習支援機能（外国語学習者等への対応）
  - (4) 文字拡大機能
  - (5) 外国語電子書籍の提供
  - (6) 文字と地の色の反転機能（読書障害等への対応）
  - (7) マルチメディア機能（映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供）
  - (8) 電子書籍の紙出力による提供機能（コンテンツのプリントアウト）
  - (9) 必要な情報発見の検索機能（コンテンツ全文検索等）
  - (10) その他（記載）
-

Q19【質問 4-11】図書館運営管理者の「電子書籍貸出サービス」のメリットについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 貸出・返却・予約業務の自動化
  - (2) 図書館サービスのアクセシビリティ対応（障害者差別解消法、読書バリアフリー法等への対応）
  - (3) 書架スペース問題の解消
  - (4) 汚破損・紛失の回避
  - (5) その他（記載）
- 

Q20【質問 4-12】「電子書籍サービス」に期待する形態（ライセンス形態等）を選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) マルチアクセス対応（複数・多数同時利用可能形態）
  - (2) 学習支援機能（ハイライト、書き込み、付箋等の機能）
  - (3) 学校外からのアクセス対応
  - (4) その他（記載）
-



Q21【質問 4-13】「電子書籍サービス」について懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 予算の確保
  - (2) 担当部署、担当者の問題
  - (3) 学生・教職員からのニーズ
  - (4) サービス導入後の利用が少ない
  - (5) サービスの導入に対する、費用対効果
  - (6) 提供されるコンテンツの懸念
  - (7) 利用者（学生・教職員）に対する電子書籍サービスの説明
  - (8) 電子書籍サービスが継続されるかどうか（サービス中止に対する不安）
  - (9) 大学の理事会等に電子書籍サービスについて理解を得ること
  - (10) 電子書籍サービスを実施するための十分な知識（経験）がない
  - (11) 電子書籍サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
  - (12) その他（記載）
- 

Q22【質問 4-14】 質問 4-13 で (6)「コンテンツの懸念」を選択された方について、「電子書籍サービス」のコンテンツについて懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 提供されているコンテンツが少ない
  - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
  - (3) コンテンツの規格がわかりにくい
  - (4) コンテンツの価格
  - (5) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
  - (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
  - (7) その他（記載）
-

### 【5】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」に対する対応について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

Q23【質問 5-1】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化送信サービス」の対応について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
  - (2) 申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
  - (3) 令和元年度（2019年）中に申し込みをする予定で検討している
  - (4) 令和2年度（2020年）以降に申し込みをする予定で検討している
  - (5) 現在のところ申し込む予定はない（差し支えなければ（6）に理由をご記入下さい）
  - (6) その他（記載）
- 

Q24【質問 5-2】質問 5-1 で（1）（2）を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) より多くの資料を提供できるようになった
  - (2) 新たな図書館利用者の開拓につながった
  - (3) 図書館利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった
  - (4) より迅速に資料を提供できるようになった
  - (5) 相互貸借を減らすことができた
  - (6) 利用者端末の有効活用につながった
  - (7) その他（記載）
- 

Q25【質問 5-3】質問 5-1 で（1）（2）を選択した方について、図書館で「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」を開始して感じる課題を選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 利用が少ない
  - (2) 魅力的な資料が少ない
  - (3) 操作方法に工夫・改良の余地がある
  - (4) 運用・管理が煩雑である
  - (5) 設備や要員に係る負担が大きい
  - (6) 複写物の提供に係る判断が難しい
  - (7) 利用者への広報の仕方がわからない
  - (8) その他（記載）
-

Q26【質問 6】 その他、全体を通してご意見等ございましたら、ご記入ください（記載）

-----

最終ページ